

# おひさま通信



ごあいさつ

理事長 田中 紀代美

おひさまクラブとしての活動を開始してから14年目を迎えようとしています。当初小学校1年生だった子どもたちが高等部を卒業し、社会人2年目に突入しているところですが、おひさまクラブもこの子たちと同じように成長できているかなと思うと、残念ながらあまり成長してないような気がします。(でも子どもたちのことは常に考えているのですが・・・)

にこにこクラブの新しい居場所として宇部市立厚南小学校の図工準備室をお借りして1年がたちました。子どもたちは新しい環境にもすぐに慣れ、歌を歌ったりトランプをしたりと楽しく過ごしています。お隣のかわいい1・2年生の学童の子どもたちがときどき覗きに来て、にこにこクラブの子どもたちの存在も少しアピールできたかなと厚南小学校で活動できたことに感謝しています。新しい仲間も増えた代わりに卒業生も送り出さなくてはいけなく、寂しいなと思っていたのですが継続して利用するという事でとても嬉しく思います。残っている子どもたちも心強く思っていることでしょう。

そしてまた新たに藤山の松崎町に4月から家を借りることになりました。ご近所福祉に参加できればいいなと思っていますが、お年寄り子どもたちとのふれあいや、発達障害の子どもたちの勉強の場や、ふれあい塾のようなものになればうれしいなと思っています。子どもたちはやはり地域の中で育つことが自然であり、あるべき姿だと思います。地域の方々に知っていただき(理解していただけるとなお良いのですが)みんなでキャンプでもできれば最高ですね。名前は「友遊館」と名付けました。保護者の触れ合いの場としても使えます。皆さんでお茶でもいかがですか？

## 古巣に帰っての「おひさまクラブ」

宇部総合支援学校 実行委員一同

昨年は宇部フロンティア大学のプレイルームをお借りしての「おひさまクラブ」でしたが、今年子どもたちの慣れ親しんでいる宇部総合学校で実施することができました。学校は工事後の立派な校舎になりましたが、私たちの活動場所は以前と変わらなく暑～い部屋で大入り満タンの・・・。



でも大きなプールで泳げたし(もちろん中庭にも赤い羽根募金でいただいた大型プールを出してボランティアさんと水の掛け合いもしましたよ。)中庭でキャッチボールをしたり、自転車にも乗れて子どもたちは満足そうでした。ボランティアさんは汗をかきながら、箱車に子どもたちを乗せひっぱってくれていました。感謝！感謝！です。

また毎年のように看護師求人でも悩んでいましたが、社協さんのお世話で今年3人の方々に協力していただくことができました。ここ数年猛暑が続き、子どもたちやボランティアさんの体調が気になり心配でしたが、安心して活動することができました。また厚かましく次回の協力もお願いし

ました。

私事ですが先日子どもの入院先で、むか〜し「おひさまクラブ」に学生ボランティアで参加されていた方々にお会いしました。今は障害のある子どもたちにかかわる病院の看護婦・保育士としてそれぞれ立派な社会人になられていました。長期休暇中、汗をかきながら子どもたちと一緒に遊んでもらったことが、現場で少しでも役立っていたら嬉しいなと思っています。

## 川上おひさまクラブ・・・子どもたちの成長



川上おひさまクラブ事務局 田中文代

川上おひさまクラブ期間中、朝の健康観察でお世話になっている医療法人テレサ会・西川医院さんが、この度発達障害の子どもたちと家族のための医療センターを立ち上げられ、同時に就労支援B型施設として「NPO 法人ぐうですぐう」を開設されました。施設には障害のある人たちが働くレストラン「バル・ミエール」も併設され、「新しい価値観の創造」をキーワードに、これからもどんどんチャレンジが続けられていくことと思います。

先日、この春から社会人になる息子と一緒にこの「バル・ミエール」にお昼を食べに、行ったところ、となりのテーブルから「田中さん！」と若くて素敵なお嬢さんから声がかかりました。「誰だっけ？」と思っていると「おひさまクラブのボランティアに行ってたOです。」と自己紹介されました。「え、Oさん?!」と久々の再会にびっくり。川上おひさまクラブ創生期の頃、毎年高校生ボランティアとして参加して下さっていたOさんでした。そういえばお化粧もされているけれど、ぱっちりとした大きな目に昔の面影が残っています。もうこんなに大人になられたんだなあ、と月日の流れる早さを実感しました。

川上おひさまクラブも今年で9年目。小学生だった息子が支援学校の高等部を卒業して働き出すことを考えれば、ボランティアさんたちが成長してそれぞれの道を歩んでおられることも決して不思議ではないのですが、十代の頃を知っている者としては感慨もひとしおです。社会人になると、学生の頃のような長い夏休みもありませんので、ボランティアに参加されることはほぼ不可能になりますが、今の生活におひさまクラブでの経験が何か役に立っていれば、こんなにうれしいことはありません。Oさんは今は保育園の先生をされておられるとのこと。きっとおひさまクラブで培われた経験を活かしてみなさんに慕われる先生になっておられることでしょう。

おひさまクラブでお預かりする子どもたち、ボランティアに来てくれる子どもたち、育ちゆくこの子たちの一日一日を、今年も大切にしたいと思います。



## サンデークラブ 「1年を振り返って」



山須 知恵

おひさまクラブは小学部から、サンデークラブは中学部から参加させていただいています。わが子は今年度高等部を卒業し、それと共におひさまクラブも卒業し社会人になりました。月1回のサンデークラブは親子ともども楽しく参加させていただいています。

学校の時とは違い、今通っている作業所は行事等少

ないので、サンデークラブで季節の行事や工作をすることは、とても貴重な場所になっています。

今年度は実行委員としてお手伝いしましたが、実行委員の集まりは親の情報交換などいろいろ話せて私にとって憩いの場であり、とても良かったです。

微力ですが、これからもできる限りお手伝いしていきたいと思っています。

### サンデークラブ 実施日

4月14日	5月12日	6月9日	7月14日	8月11日	9月8日
10月13日	11月17日	12月15日	1月19日	2月9日	3月16日

## にこにこクラブ 卒業を迎えて

山崎 園枝

たっくんもいよいよ春より社会人です。12年間通った宇部支援学校も卒業です。

たくさんの思い出がありますが、一番の思い出は放課後にみんなと過ごしたニコニコクラブでのひと時でしょうか！学校が終わったあとに家以外の場所で過ごす事、最初はとまどいもありましたが、気が付くともう何年もニコニコで過ごしているかのようにちゃっかりなじんでいました。

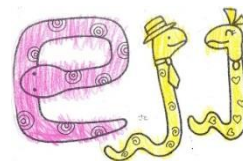
最初はニコニコの先生方との遊びから始まり自然と友達同士への関わりも出来るようになりました。ボール投げや散歩と、友達と遊べる事、すごいなと思いました。そんなたっくんの事を根気よく見守ってくださった先生方に感謝しています。

思春期で調子がとても悪い状態でも受け入れてくださり一緒に悩んで愚痴もたくさん聞いてくださいました。とても心強くてうれしかったです。

そして、「ニコニコはたっくんの居場所です」と言ってくださった事忘れられません。ニコニコクラブは母の居場所でもありました。

本当に長い間ありがとうございました。ここで過ごせたこと幸せに思います。

さみしくなりますが、楽しかった思い出をたくさんいただいたので、これからがんばっていけそうです。ニコニコクラブがずっと子ども達の素敵な居場所でありますように心から願っています。



## 成長したわが子

末武 里加

満開の桜の下、校門をくぐった日から早12年。3月8日の卒業式も無事に終わり、今は3月11日から施設のほうへ通っています。

にこにこクラブの方には、学生時代放課後や休日に利用させて頂きました。歌を歌ったり、トランプや絵本を読んだり、調理やお散歩をしたりと、とても楽しくいろいろな経験をさせていただいたようです。その間、本人の調子の悪い時期もありましたが、職員の方々に暖かく見守って頂き、本人も精神的により大きく成長していったと思います。心から感謝しています。本当にありがとうございました。

現在は、土曜日を中心に利用させて頂いております。学生時代から社会人となった今、本人がどう大人になっていくのかを見守って行きたいと思っています。これからもどうぞよろしく願いいたします。



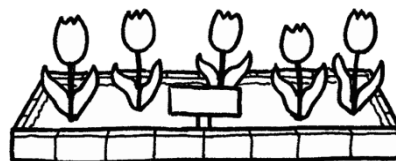
## ■2012年度 活動報告■

2012年4月  
～2013年3月

### サンデークラブ

開催場所：宇部総合支援学校

開催日：毎月第2日曜日



2012年7月  
～8月

### おひさまクラブ

開催場所：宇部総合支援学校・川上小学校

開催日：宇部総合支援学校 5日間・川上小学校 6日間

2012年4月  
～2013年3月

### にこにこクラブ

開催場所：宇部市立厚南小学校 図工準備室

開催日：土(隔週)・日以外毎日(年末年始を除く)

2012年 夏・冬

### おひさまミニカフェ

開催場所 宇部フロンティア大学チャイルドセンター

2012年4月  
～2013年2月

### おひさまカフェ

開催場所：宇部市立厚南小学校 図工準備室

開催日：毎月2回

2012年4月  
～2013年3月

発達 障害児を支えるネットワーク協議会 (隔月1回)

4月 「おひさま生活塾」総会

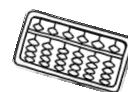
5月29日

～7月10日 ボランティア養成講座 7回 社会福祉協議会 共催

## ■2012年度 決算収支■

収入 4,748,550 円

支出 3,981,554 円



☆ 寄付 連合山口宇部地域協議会さまから 318,591 円

MAC・音友会さまから 62,000 円

ガッツさまから 50,000 円

ほか

### 編集後記

みなさんに障害をもつ子どもたちの活動を知ってもらおうと会報で紹介していますが、24年度のボランティア養成講座には障害のことを理解しようと積極的に受講された21名の方々に会うことができました。このように理解者が増えることで子どもたちも住みやすい世の中になっていけばいいなと思っています。 おひさま生活塾ホーム (<http://ohisama-seikatujyuku.jimdo.com/>)